

Plan

事業名	合併処理浄化槽補助事業			事業類型	ソフト	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	4款	1項		3目	事業1	140	事業2	281
担当部署	部	環境部			課	廃棄物対策課			
総合計画体系	めざすまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち			基本計画	4-④自然環境を保全する			
事業の目的	公共下水道事業計画区域を除く地域に合併処理浄化槽設置の補助を行い、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する。								
事業の概要	公共下水道事業計画区域を除く地域を対象に、合併処理浄化槽の設置整備について、設置費の一部を補助する。 ※設置 135基(内訳 新設 105基・付替え 30基)								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績			事業費(千円)		当初予算額	決算額
	設置合計 123基	新設	付替え	財源内訳		58,823	55,405
5人槽	80基	19基	国庫支出金	16,676	15,341		
7人槽	39基	11基	県支出金	5,848	5,896		
10人槽	4基	2基	市債	0	0		
			その他	0	0		
			一般財源	36,299	34,168		

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
		単独処理浄化槽・汲み取り便屋から合併処理浄化槽への年間転換件数を30基以上。			24	30	32
事業の評価	判定	判定理由					
	必要性	A	下水道整備区域以外において、合併浄化槽は生活排水による河川等の水質汚濁を防止するために有効な手段である。				
	有効性	A	合併浄化槽は単独浄化槽や汲み取り便槽より格段の効果があり、快適な生活環境の維持に欠かせない機能である。				
	効率性	B	合併浄化槽等から合併浄化槽への転換による事業効果は大きい。一方建物を新築する際に設置する浄化槽は、合併浄化槽が義務付けられているため、適正な補助額の検証を今後も継続する必要がある。				
総合評価	A	合併処理浄化槽設置者に対して予算の範囲内で設置費の一部を補助することにより、合併浄化槽が増えた分、水洗化率が向上する。					

Action

今後の方針	内容	
事業費 維持	生活排水による河川等の水質汚濁の防止を図るため、事業を継続する。ただし、周辺市町の対応状況を比較検討しながら、事業の制度を見直していく。	

実施計画

年度	平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業内容	設置数 135基		設置数 135基		設置数 135基	
	5人槽	78基	5人槽	78基	5人槽	78基
	7人槽	53基	7人槽	53基	7人槽	53基
	10人槽	4基	10人槽	4基	10人槽	4基
事業費(千円)	117,981					

Plan

事業名	公共下水道整備事業			事業類型	ハード	実施計画	○	区分	継続
予算科目	特別会計	款	項	目		事業1		事業2	
担当部署	部	環境部			課	下水道課			
総合計画体系	めざすまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち			基本計画	4-④自然環境を保全する			
事業の目的	下水道を整備することにより、浜名湖の水質保全を図るとともに、下水道整備計画区域内における生活環境の改善を図る。								
事業の概要	市街化区域並びに浄化センター周辺の人口が密集した市街化調整区域を合わせた区域面積A=1,133haの下水道整備 湖西浄化センターで汚水処理をする浜名湖処理区面積A=745ha 新居浄化センターで汚水処理をする浜名湖処理区面積A=388ha								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績 下水道整備面積 A=4ha 浜名湖処理区の下水道整備 A=2ha 新居処理区の下水道整備 A=2ha	事業費(千円)		当初予算額	決算額
		財源内訳	国庫支出金	150,000	150,000
県支出金	0		0		
市債	255,500		200,000		
その他	27,236		35,461		
一般財源	0		0		

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
	判定	判定理由					
事業の評価	必要性						
	有効性						
	効率性						
	総合評価						

Action

今後の方針	内容	
事業費	維持	新所原地区並びに新居町三ツ谷地区における市街化区域を中心にした下水道整備の継続

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	下水道整備面積 A=6ha 浜名湖処理区の下水道整備 A=4ha 新居処理区の下水道整備 A=2ha	下水道整備面積 A=5ha 浜名湖処理区の下水道整備 A=4ha 新居処理区の下水道整備 A=1ha	下水道整備面積 A=9ha 浜名湖処理区の下水道整備 A=8ha 新居処理区の下水道整備 A=1ha
事業費(千円)	1,340,237		

Plan

事業名	公共下水道整備事業(長寿命化等)			事業類型	施設管理	実施計画	○	区分	継続
予算科目	特別会計	款	項	目		事業1		事業2	
担当部署	部	環境部			課	下水道課			
総合計画体系	めざすまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち			基本計画	4-④自然環境を保全する			
事業の目的	経営健全化や財源確保の具体的方策の整理								
事業の概要	下水道事業の施設管理を最適化し継続性を高めるためストックマネジメント計画を作成し、計画に基づき順次修繕を実施する。 投資資産及び財源資産の将来予測方法、経営健全化や財源確保の具体的方策を整理し、経営戦略を策定する。								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績	事業費(千円)		当初予算額	決算額
		<ul style="list-style-type: none"> ・ストックマネジメント基礎調査 資料調査及び整理、台帳システム導入準備 ・経営戦略及び下水道使用料検討 基本情報の整理、投資・財政計画の策定、下水道使用料改定検討 	財源内訳	国庫支出金	0
県支出金	0	0			
市債	0	0			
その他	0	0			
一般財源	37,602	22,575			

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
	判定	判定理由					
事業の評価	必要性						
	有効性						
	効率性						
	総合評価						

Action

今後の方針	内容	
事業費 維持	平成29年度は計画策定等の準備期間であるため、次年度以降も継続となる。	

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ストックマネジメント全体計画策定(調査点検) ・経営戦略策定及び下水道使用料検討 	・ストックマネジメント実施計画策定	
事業費(千円)	90,700		